

☆ ボランティアさんの一言 ☆

2月の宵の南天には、明るい1等星6個を結んで出来る大きな「冬のダイヤモンド」が目につきます。

その中で、どの星よりも明るい青白く輝くシリウスを目印に、そのずっと南の地平線スレスレにりゅうこつ座の1等星カノープスが見えます。中国では「南極老人星」と呼ばれ、お目にかかれれば健康で長寿にあやかれると言われていました。

皆様もぜひ一度挑戦してみてください。

(星のじいじより)

開館時間：15：00～21：30

☆ 2月の見頃の時間は18:00ごろです ☆

↓ 当日の天候はWeb、またはFacebook・Twitterにて ↓



Web



Facebook



Twitter



Instagram

#くらぶちこども天文台

新Webになりました！



くらぶちこども天文台
KURABUCHI KODOMO OBSERVATORY

〒370-3403 群馬県高崎市倉淵町水沼2930番 TEL：027-386-6837

※ お天気などご不安な点ありましたらお気軽にお電話ください ※

くらぶちこども天文台

2022★2月の星空

暦の上では立春といえど、まだまだ冷たい風の吹く2月がやってきました。それでも見上げると華やかな冬の星々がキラメキます。そんな2月、くらぶちこども天文台のWebページがリニューアル！！今までの星空案内パンフレットのアーカイブが見れたり、天文台で撮影した天体写真が見れたりコンテンツも増えました！ぜひご覧ください！



今月の星座

北

西



東

南

星空トピックス 『すばるはいくつ?』

『冬のダイヤモンド』が美しい、2月の星空。馬を使った戦車を発明した王様のものがたりが星座になった【ぎよしゃ座】のカペラ、兄よりも明るい【ふたご座】の弟 ポルックス、オリオンが連れる2匹の獵犬【こいぬ座】【おおいぬ座】のプロキオンとシリウス、獵犬とともに狩りを行う【オリオン座】のリゲル、そして美しい乙女エウロパに恋をしたゼウスが姿を変えた【おうし座】のアルデbaran。見上げれば大きな六角形が圧巻の姿をみせます。そんな『冬のダイヤモンド』の一つ、アルデbaranの傍らに小さな星の集まりがあることに気づいたでしょうか。

◇ おうし座の顔と肩は星団！

この小さな星の集まりは、群馬でも特に有名なクルマのメーカーのエンブレムにもなっている『すばる』です。英語では『プレアデス星団』といい、100個以上の若い星の集団です。星のまばゆい光が宇宙を漂うガスを反射し、写真に撮ると美しく浮き出ます。また、皆さんの目ではいくつくらいに見えるでしょうか？大体6つ程見えることから、日本の古い呼び名で『六連星』というのがあります。ちなみに、【おうし座】のアルデbaran

ンがある“顔”も『ヒアデス星団』といい、よく見ると星が集まっています。こちらは『すばる』よりも近くにあるため、ばらけて大きく見えるのです。



誕生星座は、【おうし座】【ふたご座】【かに座】が見頃になります。『冬のダイヤモンド』や『冬の大きな三角』が高く昇り、それはそれは華やかな星空が一層美しくみられる真上に来ます。また、北天には【カシオペア座】と『北斗七星』の両方がみられるように。冬から春へと北極星を示す星座がバトンタッチです。

Stellarium 0.19.0 / <https://stellarium.org/ja/>より